



えがく・ぬる・ふれる

”えがく”のコーナーで始まった絵の具でお絵描き。最初は筆で、徐々に指や手の平を使ってどんどんダイナミックになっていく子どもたちの”えがく”。黄色とピンクでオレンジになったり、色を混ぜすぎるとイメージと違う色になったり。夢中になって色をえがく。

遊び込んでいく子どもたちの姿は夢中そのもの。きている服や体に絵の具がついてもお構いなし。真っ白で自分の体よりも大きな模造紙に夢中になってえがいていきます。あっという間に色でびっしりになった模造紙。新しいのに変えようか？と声をかけるとにっこりで「もっとかきたい！！！」と答えが返ってきました。新しい模造紙もあっという間、今日の午前中は色を全身で楽しんだ子どもたちでした。



夏が始まるこの時期に、毎年行っているボディーペインティング。例年だと、絵の具を体に塗って絵の具の感触や色の混ざりを感じる日でした。今年度は少しだけ変更！園庭を「描くコーナー」「転がすコーナー」「泡のコーナー」「色水のコーナー」「体に塗るコーナー」のコーナーに分けてどの子も楽しめるよう環境づくりを工夫しました。

体に直接絵の具を塗るのに抵抗がある子どもも、色のついた泡なら大丈夫だったり、色水だったら大丈夫だったり。色と遊ぶ方法って一つじゃないよなと改めて感じた日になりました。